

(別紙様式) 平成27年度 学校自己評価システムシート (県立上尾橋高等学校) (A3判横)

目指す学校像	地域に根ざし、生徒一人ひとりを伸ばし、自立(律)して社会を支えられる人間を育てる。
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 基本的な生活習慣を確立し、規律意識を高める。 2 基礎学力の向上を図り、生徒の資質・能力を高める。 3 進路指導の充実により、生徒の自己実現を図る。 4 地域に根ざし、信頼される開かれた学校づくりを進める。
------	--

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	4名
	生徒	5名
	事務局(教職員)	13名

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己目標					学校関係者評価	
年度目標					実施日 平成28年2月15日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	次年度への課題と改善策
1	生徒の規律意識や協調性、基本的な生活習慣は改善傾向にあるが、欠如している生徒が少なからず存在している。したがって、より一層の改善に向けての方策を講じる必要がある。また日常の指導に加え、体験的活動を通して、社会の一員としての規範意識と個人の判断能力を身につけさせたい。	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣の定着 ○生徒の規律意識の向上 	<ol style="list-style-type: none"> ①家庭との連絡・連携を強化することにより、家庭と学校相互で指導できる体制を築く。 ②生徒情報を共有し、正しい言葉使いで毅然とした指導を行い、整容指導・遅刻指導等、生活指導を強力に推進する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①学校評価懇話会・PTAからの意見等で、信頼されている評価が得られたか。 ②欠席・遅刻・早退が減少したか。また、特別生徒指導の数が減少したか。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立 ①保護者からの学校アンケート結果を見ると、全体的に80%以上の良好であるという評価を得ている。特に挨拶では前年より6.4ポイント上昇した。 ②特別生徒指導の件数は大幅に減少した。しかし、欠席・遅刻に関しては小規模の改善となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果からスマートフォンに対する指導と心身の悩み対応が他の項目に比べて十分でないように思われる。改善をしていきたい。 ・保護者との連絡を密に取り、欠席・遅刻の減少に取り組む。
2	授業にまじめに取り組む生徒が多いが、基礎学力が十分でない生徒も多い。また、学習に対する前向きな気持ちを持っていない生徒もいる。基礎基本の学力定着を重視した「わかる」「できる」授業をさらに展開する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎基本を定着させる学習指導と学力の向上 	<ol style="list-style-type: none"> ①チャイム着席・始業の授業を徹底するなど、生徒に日常授業を大切にすることを育てる。 ②学び直しの学校設定科目「ブラッシュアップ」や各教科の授業で、生徒の学習意欲を高め、わかる授業を展開し、基礎学力の定着を図る。また、そのために年次研修、公開授業、教科会等を活用し、授業改善を進める。 ③定期考査前の補習(「放課後寺子屋」)を充実させる。 ④各種検定試験の資格取得を奨励する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①チャイム着席・始業は習慣化しているか。日常の授業に取り組む姿勢は向上しているか。 ②学習意欲の向上、授業満足度が授業アンケートの結果に表れたか。授業改善につながる情報交換や学び直しについての検討が各教科でなされたか。職員研修会や授業見学等で授業改善することができたか。 ③学期末欠点の生徒は減少したか。成績優良者は増加したか。 ④資格取得できた生徒は増加したか。 	<ul style="list-style-type: none"> 「わかる」「できる」授業の展開と授業改善 ①時間を意識して行動できるようになってきている。生徒アンケートで「チャイム着席ができています」が95.2%と前年度よりも増えた。 ②生徒アンケートの授業満足度91%を達成。11月に授業研修会を実施し、研究授業・授業見学が広く行われた。各教科の学び直しを取り入れた新教育課程が編成され、各教科で学び直しについて検討がなされた。 ③放課後寺子屋を各教科で実施したことにより、参加者が大幅に増え、成績不振者は7%減になった(前年度比)。 ④のべ224名の生徒が資格を取得した。(2月1日現在。前年度比13%増。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体としては落ち着いた学習環境づくりができてきているが、引き続き日常の授業を大切にすることを育てる。 ・これまでの習慣で、やる前から「できない」と決めつけている生徒が多いが、その改善策としてブラッシュアップタイムを有効活用できるように研究していく。 ・本校の生徒理解や授業の工夫について、情報交換し共有するための研修会を実施する。
3	就職希望者の内定率100%を維持しているが、多様な生徒のニーズに応えられるような組織的取り組みがさらに必要となっている。したがって組織的な取り組みを強化し、生徒自身の進路意識をより一層高めさせると同時に、自己理解の深化を図り、確実な進路決定につなげていく。	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒一人ひとりの希望を叶える進路指導の展開 	<ol style="list-style-type: none"> ①企業訪問を通じて求人動向の把握に努める。また、『進路通信』を発行し、生徒・保護者への進路情報の提供に努める。 ②校外での体験活動や見学会等を通じて社会の実情を理解させ、自己の将来を考えさせる。 ③進路指導部と学年との連絡を密にし、生徒の日常の個別相談に対応する。進路ガイダンス、進路適性検査などを利用して、自己理解を深めさせる。また外部講師を利用して面接指導等の充実を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> ①企業に対する理解を深め、求人動向を把握することができたか。『進路通信』を用いて、生徒・保護者に進路情報を提供することができたか。 ②各種体験活動等を進路指導に生かすことができたか。 ③分掌と学年の間で進路情報・生徒情報の共有はできたか。適切な進路指導に生かされたか。進路ガイダンス等を通じ生徒に適切に指導できたか。外部講師を有効に利用できたか。就職や進学希望は実現できたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導体制の充実 ①企業訪問の他にも企業との情報交換会や懇談会に参加し、情報を収集した。『進路通信』を発行し、保護者にも学校での取り組みを紹介。保護者アンケートでは、「(本校が)生徒の進路意識を高めている」との回答が前年比3.9%増加。 ②就労体験では、働くことの厳しさを学ばせることができた。進路別見学会で2年生の進路決定への意識を高めた。 ③進路部と学年との間で情報を共有できたため、入試説明会での個別相談を有効に活用できた。外部講師による面接指導39日。ハローワーク職員による面談10人。2月1日現在就職内定率95.5%。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次の進路ガイダンスをさらに有効なものにするため、年間での構成を再検討する。 ・生徒による適切な企業選びができるようにするため、引き続き企業の求人動向の把握に努めるとともに、生徒への情報提供を一層進める。
4	学校通信の地元自治会への回覧や地域交流により、本校への理解が地域に浸透してきている。今後本校生徒の活躍ぶりがよりわかるような広報活動を続け、また生徒の対外的な活動を充実させ、保護者と連携して学校行事の充実を図り、開かれた学校づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ○上尾橋の良さのアピール ○開かれた学校づくりの推進 	<ol style="list-style-type: none"> ①体験入学、学校説明会、授業見学会でがんばる橋高生を発信する。 ②体験入学、学校説明会、文化祭で個別相談会を実施し、本校への理解を浸透させる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①学校説明会等の参加者および入学希望者は増加したか。参加者はその内容に満足したか。 ②本校への理解が深まり、本校に良い印象を持ったか。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校説明会等の参加者増と本校への理解度アップ ①学校説明会等の参加者は前年度比6%増。橋の特色・魅力を知り、在校生のメッセージビデオを見て、橋のことがよくわかったと好評であった。 ②説明会・個別相談会で本校への理解が深まり、橋で学びたい、学ばせたいというアンケート結果が多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校入学を希望する中学生の増加。そのために、本校についての特色、魅力の更なる情報発信に努める。
4			<ol style="list-style-type: none"> ①学校通信「橋」や「橋トピックス」を地元自治会や近隣中学校に配布する。 ②ホームページを活用した情報発信を行う。 ③保護者が学校行事に参加する機会を増やす。 ④生徒の対外的な活動を推進する。 	<ol style="list-style-type: none"> ①学校通信等の発行や配布が適切になされたか。 ②ホームページの内容は充実していたか。更新回数は多かったか。 ③保護者の学校行事への参加数は増加したか。 ④交流活動や体験活動は充実していたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信・体験活動・交流活動の充実 ①学校通信「橋」を学期末に発行し地元自治会へ回覧した。「橋トピックス」を15回発行し、来校者や中学校に配布した。 ②ホームページの内容をやさしくわかりやすいものとし、また、項目を増やして充実させた。 ③体育祭・文化祭等の学校行事に昨年度よりも多くの保護者の参加があった。 ④就労体験、東北ボランティア、校外美化活動等体験活動、及び地域交流を推進した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者・中学生・地域の方に対する情報発信を充実させ、開かれた学校づくりを推進する。 ・多様な体験活動を充実させ豊かな心を育み、地域の一員としての自覚を持たせる。

学校関係者からの意見・要望・評価等

○保護者からの学校アンケート結果で、全体的に80%以上の良好という結果は素晴らしい。
○社会の一員としての規範意識が低い生徒にボランティア活動に参加させ、その頑張りを評価できると良い。
○部活動に更に積極的に取り組んでもらい、その積極性が他の面でも生かされると良い。
○自転車通学者の交通安全(雨天時の傘さし運転等)については地域の模範になってもらいたい。

○授業満足度91%は素晴らしい。次の段階として、授業に積極的に取り組む生徒が増えるように指導をお願いしたい。
○放課後寺子屋や生徒の学力向上に向けての先生方の努力は素晴らしい。
○授業に関連して様々な資格が取れることは生徒の自信にもつながりとても良い。

○進路に関してのわからないことなどを納得できるようにきちんと説明してくれるので助かった。
○就職活動を始めてすぐに内定を頂き、先生方の熱心な指導に感謝している。

○ボランティア活動に参加するということがとても立派なこと、将来必ず役に立つ大きな経験になっている。
○校外美化活動は地域への良いアピールにもなっており、今後も継続してほしい。できれば、表通りだけではなく、狭い路地にも結構ゴミが多いのでお願いしたい。

○地元の環境フェスティバルや敬老会でダンス部等の発表するなど、地元に着目してイメージアップを図ってほしい。
○学校通信「橋」が地元で回覧されているが、学校の様子がわかって良い。また、学校が身近に感じられるようになった。
○体育祭の昼休みに、応援合戦等の出し物をやると保護者の参加が増えるのではないかな。